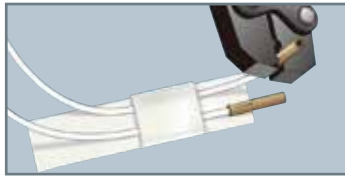
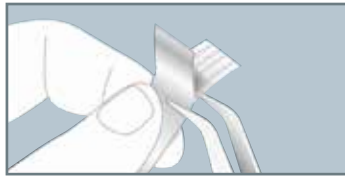


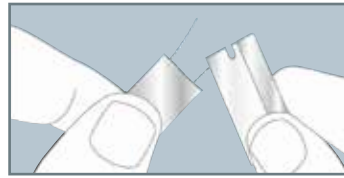
## リード線とヒーターのターミナルブロックを使用した接続方法



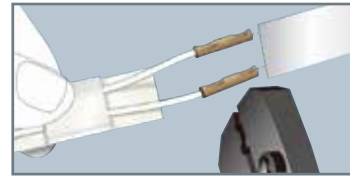
①ターミナルブロックにリード線を通します。  
リード線の被覆をはがし、圧着スリーブを取付けます。



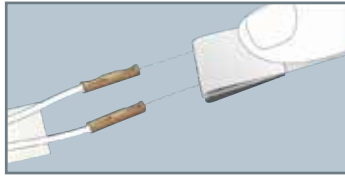
②ピンセットでヒーターテープを少しはがします。



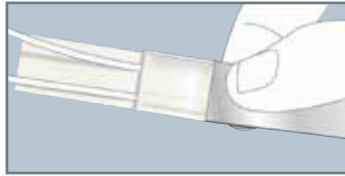
③ヒーター線を残して、ヒーターテープを切ります。  
その場合ヒーター線を露出させ、ヒーター線よりエナメル被覆を削り取ります。



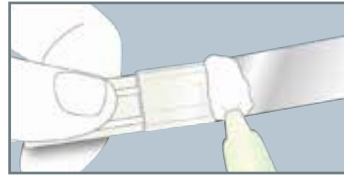
④リード線とヒーター線をカシメます。  
ヒーター線が壊れる恐れがあるため、過度なカシメにはご注意ください。



⑤ヒーターテープをリード部の端から約 25mm はがします。  
ターミナルブロックを、コネクタのカシメ部分が入るまで押し込みます。



⑥ヒーターテープをターミナルブロックに押し付け、貼り付けます。



⑦必要に応じて、シリコン樹脂等を充填しても構いません。

### ●標準仕様表

テープ幅 : 6.35mm 厚さ : 0.63mm ※1巻 : 15m 単位

| 品番   | 結線         |            | 1mあたりの最大容量 (W/m) | 商品コード  |
|------|------------|------------|------------------|--------|
|      | パラレル (Ω/m) | シリーズ (Ω/m) |                  |        |
| A-16 | 3          | 12         | 130              | CRA162 |
| B-16 | 5          | 20         | 130              | CRB162 |
| C-16 | 6          | 24         | 115              | CRC162 |
| D-16 | 8          | 32         | 95               | CRD162 |
| E-16 | 11         | 44         | 130              | CRE162 |
| F-16 | 14         | 56         | 115              | CRF162 |
| G-16 | 18         | 72         | 95               | CRG162 |
| H-16 | 21         | 84         | 95               | CRH162 |
| J-16 | 35         | 140        | 65               | CRJ162 |
| K-16 | 45         | 180        | 50               | CRK162 |

※別売品

| 品番          | 内径 (Φ) | 外径 (Φ) | 商品コード |
|-------------|--------|--------|-------|
| ターミナルブロック L | 1.6    | 3.4    | CRTL  |

### ●並列・直列の抵抗値

(例) 品番 A-16

パラレル(並列)

$$\begin{array}{c} \text{6}\Omega \\ \text{6}\Omega \end{array} \parallel = \frac{1}{\frac{1}{6} + \frac{1}{6}} = 3\Omega$$

シリーズ(直列)

$$\text{6}\Omega + \text{6}\Omega = 12\Omega$$



◀ターミナルブロック

### ●ヒーターの選択方法

- 被加熱物の要求温度の容量 (W) を計算します。(ヒーターの結線方法をパラレルまたはシリーズのどちらにするかを検討します)
- 被加熱物を均一に加熱するための長さを決めます。
- テープ 1m あたりの抵抗値の計算式
 
$$\frac{(\text{電圧})^2}{\text{①の計算値(W)} \times \text{②の長さ(m)}}$$
- テープ 1m あたりの容量の計算式
 
$$\frac{\text{①の計算値(W)}}{\text{②の長さ(m)}}$$
- 標準仕様表を確認し、③で計算した値よりも大きい Ω/m 値のヒーターを選択してください。
- 標準仕様表を確認し、④で計算した値よりも大きい W/m 値のヒーターを選択してください。

### ●選択例(左記の選択方法に沿って行います)

- ①②を決定します。  
シリーズ結線、必要容量 300W、必要ヒーター長 3m、電圧 100V
- ③  $\frac{(\text{電圧})^2}{\text{容量} \times \text{長さ}} = \frac{(100)^2}{300 \times 3} = \underline{\underline{11.11(\Omega/m)}}$
- ④  $\frac{\text{容量}}{\text{長さ}} = \frac{300}{3} = \underline{\underline{100(W/m)}}$
- ⑤ 標準仕様表の「シリーズΩ/m」の値を確認し、③の計算値 (11.11) より大きい数値のヒーターを選択してください。  
(この場合、品番 A-16 ~ K-16 すべて選択できます)
- ⑥ 標準仕様表の「最大 W/m」の値を確認し、④の計算値 (100) より大きい数値のヒーターを選択してください。  
(この場合、品番 A-16、B-16、C-16、E-16、F-16 が選択できます)
- ⑦ ⑤⑥で共通の品番が、使用できるヒーターです。  
(この場合、品番 A-16、B-16、C-16、E-16、F-16 が選択できます)